



伏見 俊則 教授 略歴

学 歴

1954年	3月	北海道立釧路江南高校卒業
1954年	4月	東北大学文学部入学
1958年	3月	同 上 卒業 (英文学科)
1958年	4月	東北大学大学院文学研究科修士課程進学 (英語英文学専攻)
1960年	3月	同 課程終了 [文学修士]
1960年	4月	東北大学大学院文学研究科博士課程進学 (英語英文学専攻)
1963年	3月	同 課程単位取得終了退学

職 歴

1963年	4月	香川大学 助 手 (学芸学部)
1965年	4月	同 講 師 (教育学部)
1966年	10月	同 助教授 (同)
1967年	4月	東北大学 助教授 (教 養 部)
1988年	4月	同 教 授 (同)
1993年	4月	東北大学言語文化部に配置換
1999年	3月	同 停年退職 [東北大学名誉教授]
1999年	4月	岩手県立大学教授 (社会福祉学部)
2002年	3月	同 定年退職

論文

Love Allegory としての <i>The Two Gentlemen of Verona</i>	1967.3	「香川大学教育学部研究報告」 第一部第二十一号
Shakespeare の <i>Troilus and Cressida</i> 解釈 — 復讐の motif を中心に—	1975.8	「東北大学教養部紀要」第21号
<i>Timon of Athens</i> 覚書	1977.2	「東北大学教養部紀要」第24号
John Marston の <i>The Dutch Courtesan</i> と Shakespeare の <i>Much Ado about Nothing</i>	1981.2	「東北大学教養部紀要」第34号
John Marston の人間観— <i>Sophonisba</i> に おける懐疑・絶望と光明—	1983.6	『英文学試論』金星堂
漱石とシェイクスピア—『文学論』にお けるシェイクスピア引用の特徴とその意 味—	1985.2	『文化における受容と変容』 角川書店
John Fletcher の <i>The False One</i> における クレオパトラ像	1985.12	「東北大学教養部紀要」第44号
<i>All for Love</i> の読み方— Dryden の理論と 実践に関連して—	1986.1	「東北大学教養部紀要」第46号
<i>Measure for Measure</i> の世界—時間的・空 間的特殊性の考察を中心に—	1987.1	「東北大学教養部紀要」第48号
イギリス文学におけるクレシダ像の変遷 — チョーサーからドライデンまで—	1988.3	『中世の文化』 角川書店

翻訳

リチャード・ウォルハイム 著『フロイト』	1973.3	新潮社
----------------------	--------	-----

その他

『カタカナの泉』（共著）	1998.2	河北新報社
--------------	--------	-------

* 学会活動（口頭発表、発表司会、評議員）、論文以外の寄稿（「比較文学」その他）、講演（「文部省公開講座」、「市民のためのシェイクスピア講座」、コトバに関係した仙台市内各所における講演）などについては省略する。